

山岳遭難発生状況 (令和4年11月末現在)

77件87人(±0件+1人)・死傷者50人(死亡13人、負傷者37人)

冬山登山の合言葉

山頂は「ゆ・き・と・み・て」(雪と見て)登ろう!

ゆ ～ゆとりのある登山計画の作成と提出～

早めの入山と下山を心掛け、ゆとりのある登山計画を作成しましょう。また、家族などの身近な人に登山計画を知らせ、登山届を提出してください。

き ～気温、天候の変化に注意～

麓は雨でも、山頂付近では降雪の場合があります。事前に天候情報を収集して天候の悪化が予想される場合は、登山の中止又は延期を検討してください。

と ～凍結箇所注意～

わずかな凍結区間であっても、こまめにアイゼンを装着してください。凍結箇所が落ち葉や雪で埋もれている場所もあり、特に日当たりの悪い場所では慎重に歩くようにしてください。

み ～道迷いに注意～

積雪で登山道が不鮮明になり、先行者や自分の足跡も短時間で消えてしまうこともあります。必ず地図や登山アプリ等を携行するとともに、常に現在地と進行方向を確認してください。

て ～低体温、凍傷に注意～

気温が著しく低下するこの季節は、低体温や凍傷を発生する危険性が高まります。必ず合羽や防寒着を携行し、身体を冷やさないように注意してください。



小さな油断が大事故に

左下の写真は、過去の山岳遭難現場の写真です。

一見、1メートル程度の凍結で気を付ければ、なんなく通れそうな登山道ですが、同じ日、同じ場所で2人の登山者が凍結箇所です足を滑らせ、滑落しています。

登山者は軽アイゼンを着用していたものの、アイゼンの刃が付いていない爪先又はかかとが凍結箇所に接し、滑ってしまったものと考えられます。

装備の特徴をよく理解し、小さな凍結でも油断しないよう気を付けましょう。



アイゼンの刃を意識しながら、歩くようにしましょう。



「爪先」と「かかと」に注意！

○山岳遭難情報はコチラ！

情報発信

Twitter (ツイッター) で山岳遭難情報や登山する注意事項などを随時発信していますので、参考にしてください。

アカウント：埼玉県警察本部地域部地域総務課
@spp_chisouka



○登山届はコチラ！



山と自然ネットワークコンパス
Compass

<https://www.mt-compass.com/howto.php>

全国山域の登山届がひとつの窓口で提出できます。



登山届 (電子申請)

登山届の提出は安全登山の第一歩です。

自分の技量や装備に見合った登山計画を立て、必ず、家族や身近な人に行き先等を伝えておきましょう。

